

# 景気動向調査

(飲食業、サービス業、卸・小売業、建設業)

調査時期：平成30年7月17～31日

調査対象期間：平成30年1月～6月

調査対象事業者数：小規模商工業者80社

調査票回収率：86.2%

塩釜商工会議所

## (1)B.S.I値とは

ビジネス・サーベイ・インデックス(Business Survey Index)の略で、景況判断指数のひとつ。算出された数値がプラスであれば上向き、マイナスであれば下向きと判断する。

※(「上昇:好調の要素」の構成比-「下降:不調の要素」の構成比)÷2で求められる。

## (2)総評

大半の項目で数値がマイナスとなった。特に「2.業界景気」では、飲食業、サービス業、卸・小売業が大幅に落ち込み、次期予測に目を移しても大きな変化がないことから、低迷は続く見通し。飲食業、サービス業の方を中心に、人口減少や観光対策についての声が多く寄せられており、人の流れの停滞が景気に直結している印象がある。

## 1.国内景気(△:プラス ▲:マイナス)

対象期間	全体平均	飲食業	サービス業	卸・小売業	建設業
当期(平成30年1月～6月期)	-20.9	-31.8	-26.7	-16.7	-8.3
次期予測(平成30年7月～12月期)	-19.0	-22.7	-33.3	-6.3	-13.9
(1)当期 全体: 国内景気について、B.S.I値▲20.9と、悪化を示した。 業界別: 飲食業が同▲31.8、サービス業が同▲26.7と、全体平均を下回る結果となった。					
(2)次期予測 全体: B.S.I値▲19.0と、引き続き低迷の予測となった。 業界別: 卸・小売業が同▲6.3と、改善の見通し。一方で、サービス業が同▲33.3、建設業が同▲13.9と、「当期」と比較して落ち込む予測結果となった。					

## 2.業界景気(△:プラス ▲:マイナス)

対象期間	全体平均	飲食業	サービス業	卸・小売業	建設業
当期(平成30年1月～6月期)	-31.2	-36.4	-43.3	-31.3	-13.9
次期予測(平成30年7月～12月期)	-31.7	-40.9	-40.0	-20.8	-25.0
(1)当期 全体: 業界景気について、B.S.I値▲31.2と、悪化を示した。 業界別: 飲食業が同▲36.4、サービス業が同▲43.3、卸・小売業が同▲31.3と、特に落ち込みが大きかった。					
(2)次期予測 全体: B.S.I値▲31.7と、「当期」と比較してほぼ横ばいとなった。 業界別: 飲食業が同▲40.9、サービス業が▲40.0と、引き続き低迷の予測。建設業も同▲25.0と数値を落としている。					

### 3.売上(△:プラス ▲:マイナス)

対象期間	全体平均	飲食業	サービス業	卸・小売業	建設業
当期(平成30年1月～6月期)	-18.8	-27.3	-13.3	-29.2	-5.6
次期予測(平成30年7月～12月期)	-16.1	-31.8	-16.7	-10.4	-5.6

(1)当期  
 全体: 売上について、B.S.I値▲18.8と、悪化を示した。  
 業界別: 飲食業が同▲27.3、卸・小売業が同▲29.2と、全体平均より数値を落とし、特に苦戦していたことがわかる。

(2)次期予測  
 全体: B.S.I値▲16.1と、数値は若干上向くも、低迷が続く予測。  
 業界別: 飲食業が同▲31.8と引き続き低迷の予測。一方で、卸・小売業は同▲10.4と、改善の見通し。

### 4.営業利益(△:プラス ▲:マイナス)

対象期間	全体平均	飲食業	サービス業	卸・小売業	建設業
当期(平成30年1月～6月期)	-20.7	-27.3	-20.0	-27.1	-8.3
次期予測(平成30年7月～12月期)	-16.9	-31.8	-20.0	-10.4	-5.6

(1)当期  
 全体: 営業利益について、B.S.I値▲20.7と、悪化を示す。  
 業界別: 飲食業が同▲27.3、卸・小売業が同▲27.1と、特に苦戦していたことがわかる。

(2)次期予測  
 全体: B.S.I値▲16.9と、数値は若干上向くも、悪化を示す。  
 業界別: 飲食業が同▲31.8と、引き続き悪化の予測。一方で、卸・小売業は同▲10.4と改善の見通し。

### 5.製(商)品在庫(△:プラス ▲:マイナス)

対象期間	全体平均	飲食業	サービス業	卸・小売業	建設業
当期(平成30年1月～6月期)	0.9	-9.1	10.0	2.1	0.5
次期予測(平成30年7月～12月期)	5.5	-9.1	15.0	8.3	7.7

※ここでは、プラスが「在庫過少」、マイナスが「在庫過多」を表す

(1)当期  
 全体: 製(商)品在庫について、B.S.I値△0.9と、ほぼ横ばいの数値を示した。  
 業界別: 飲食業では同▲9.1と、やや在庫過多の状況であることがわかる。

(2)次期予測  
 全体: B.S.I値△5.5と、やや在庫過少。  
 業界別: 飲食業の数値は不変、その他3業界では数値が伸びており、在庫過多の状況が続く見込み。

6.資金繰り(△:プラス ▲:マイナス)

対象期間	全体平均	飲食業	サービス業	卸・小売業	建設業
当期(平成30年1月～6月期)	0.4	-9.1	6.7	-4.2	8.3
次期予測(平成30年7月～12月期)	-5.4	-13.6	3.7	-6.3	-5.6

※ここでは、プラスが「容易」、マイナスが「困難」を表す

(1)当期

全体: 資金繰りについて、B.S.I値△0.4と、ほぼ横ばいの数値を示した。

業界別: 飲食業が同▲9.1、小売業が同▲4.2となり、この2業界が特に苦戦した。一方で、サービス業、建設業ではプラスの数値を残している。

(2)次期予測

全体: B.S.I値▲5.4と、数値を落とした。

業界別: 「当期」と比較して全業種で数値を落とし、悪化の予測となった。なかでも建設業が同▲5.6と、下げ幅が一番大きかった。

7.設備投資(△:プラス ▲:マイナス)

対象期間	全体平均	飲食業	サービス業	卸・小売業	建設業
当期(平成30年1月～6月期)	-0.8	-9.1	-7.1	4.2	8.8
次期予測(平成30年7月～12月期)	-2.0	0.0	-7.1	2.1	-2.9

(1)当期

全体: 設備投資について、B.S.I値▲0.8と、ほぼ横ばいの数値を示した。

業界別: 卸・小売業が同△4.2、建設業が同△8.8と、設備投資が増加傾向にあることがわかる。一方、飲食業では同▲9.1と落ち込んだ。

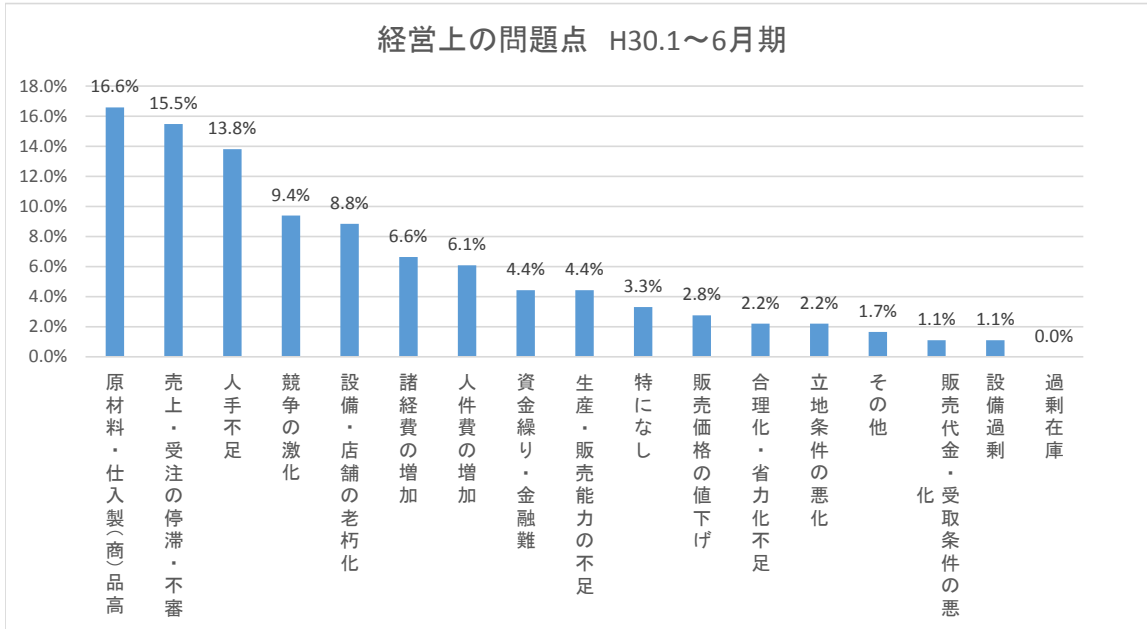
(2)次期予測

全体: B.S.I値▲2.0と、若干の減少傾向を示した。

業界別: 飲食業が同±0に数値を戻し、増加予測となった。一方で、建設業は同▲2.9に数値を落とし、減少予測となった。

【設問2】 経営上の問題点

(1) 全体



(2) 業界別内訳

	合理化・省力化不足	設備・店舗の老朽化	原材料・仕入製(商)品高	販売代金・受取条件の悪化	設備過剰	売上・受注の停滞・不振	資金繰り・金融難	人手不足	人件費の増加	過剰在庫	販売価格の値下げ	競争の激化	生産・販売能力の不足	諸経費の増加	立地条件の悪化	その他	特になし
飲食業	0.0%	7.1%	17.9%	3.6%	3.6%	14.3%	10.7%	21.4%	10.7%	0.0%	3.6%	0.0%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
サービス業	2.0%	10.0%	14.0%	0.0%	2.0%	18.0%	2.0%	16.0%	6.0%	0.0%	0.0%	10.0%	6.0%	6.0%	0.0%	0.0%	8.0%
卸・小売業	1.6%	11.5%	18.0%	1.6%	0.0%	18.0%	4.9%	4.9%	3.3%	0.0%	3.3%	8.2%	6.6%	8.2%	6.6%	1.6%	1.6%
建設業	4.8%	4.8%	16.7%	0.0%	0.0%	9.5%	2.4%	19.0%	7.1%	0.0%	4.8%	16.7%	0.0%	7.1%	0.0%	4.8%	2.4%

(1) 全体

- ・「原材料・仕入製(商)品高」が16.6%を記録し、トップの割合となった。
- ・「売上・受注の停滞・不振」が15.5%、「人手不足」が13.8%と続く。

(2) 業界別内訳

- ・飲食業と建設業では「人手不足」がトップの数字を出し、サービス業、卸・小売業では「売上・受注の停滞・不振」が18.0%とこちらもトップの割合を残した。
- ・卸・小売業は「原材料・仕入製(商)品高」も同率でトップとなっている。

【設問3】 自由記述(経営上の関心事など)

震災	
飲食	市内歓楽街も震災特需が落ち着いた印象。
卸・小売	売り上げが震災後の落ち込みから回復できていない。
建設	復興需要に陰り。(2社)

補助金	
飲食	補助金を活用したいが、知識に乏しい。情報の提供をお願いしたい。
サービス	補助金があれば活用したい。(3社)

(交流含)人口・高齢化	
飲食	人の流れがない。
飲食	観光客の増加は感じるものの、震災以前には戻っていない印象。
飲食	塩釜を発信して、観光客を増やしたい。
サービス	人口減少を肌で感じている。
サービス	週末の需要は高まっているが、平日で低迷。
サービス	インバウンドについて、街ぐるみでの対策が必要ではないか。
サービス	外国人旅行客との会話に困る。
卸・小売	顧客の高齢化。

業界	
飲食	無断予約キャンセルは業界全体の課題。損失が大きい。
サービス	業界全体で暗い話題が多い。(2社)
卸・小売	原料高騰(仕入値の上昇)。

経営	
飲食	人手不足。新卒採用、パート従業員の採用が追い付いていない。
サービス	繁忙期と閑散期の差が大きい。
サービス	後継者がいない。(3社)
サービス	個人企業に対する、自治体や関連団体の協力が不可欠。
卸・小売	仕入値の上昇が連鎖し、配送費等に手数料を設けるなど対策をした。
卸・小売	売上等への、少子化、ライフスタイル、価値観の変化による売上への影響。(2社)
卸・小売	販路の減少、価格競争の激化。
建設	専門職人の減少。
建設	人手不足対策として外国人を受け入れている。
建設	人手不足による受注の減少。
建設	人手不足により、同時期に舞い込んだ案件を選ばないといけない。
建設	従業員の高齢化と30~40代の人員不足。

社会(政治)	
卸・小売	国はもっと地方に目を向けてほしい。
建設	働き方改革の結果次第で左右されることが出てくると思う。(2社)